

南方熊楠記念館 2024年度企画展

南方熊楠の植物研究のベースは幼少期の本草学、留学先における植物学の修得にありました。ロンドンから帰国し熊野の山々を歩き植物採集をした熊楠は植物に関する膨大な知見を得ていました。同じ頃牧野富太郎も日本各地での植物採集会を通じ、アマチュアの採集者から植物の標本を集めていました。そのなかには熊楠に牧野を紹介した宇井縫蔵、キノコ四天王のひとり樫山嘉一らがいました。

本展示では「紀南」を中心に熊楠と関わりのあった植物採集者と、東京大学植物学教室に送られた植物標本を写真パネルで紹介します。



宇井縫蔵(1878-1946)
和歌山県西牟婁郡岩田村
(現上富田町)出身の植物・
魚類の研究者

植物標本写真資料展

紀南の植物研究者 南方熊楠と

2025

2.1_土 → 3.2_日

《展示物》

宇井縫蔵『紀州植物誌』及び本書に関する熊楠の長文書簡

樫山嘉一同定依頼のオカフジの標本

中島濤三採集 瀬戸鉛山村等の植物標本写真

《協力機関》

東京大学総合研究博物館 南方熊楠顕彰館

特別展ギャラリートーク

当館学芸員による特別展の展示解説を行います。

■開催日 2025年2月16日(日) 3月2日(日)

■時間 午後2時~20分程度 ■場所 南方熊楠記念館 本館特別展会場

■参加費 無料(入館料が必要) ※申込不要



上:ダイツ(中島濤三 瀬戸鉛山村採集)
下:ハルザキヤツシロラン(宇井縫蔵採集)
共に東京大学総合研究博物館所蔵



南方熊楠(1867-1941)は、和歌山県が生んだ博物学の巨星。19才から14年間アメリカ、イギリスなどへ海外遊学。10数ヶ国語を自由に使いこなし国内外に多くの論文を発表。日本に「ミナカタ」ありと世界の学者を振り向かせました。民俗学、天文学、鉱物学、宗教学などにも多くの足跡をのこしています。

■開館時間 9:00~17:00(入場は16:30迄) ※休館日:木曜日

■入館料 大人(高校生以上)600円 小・中学生300円 幼児無料



公益財団法人 南方熊楠記念館

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3601-1 (臨海バス停徒歩8分)

TEL. 0739-42-2872 <http://www.minakatakumagusu-kinenkan.jp/>

